

# 調査・研修等計画届出書

令和 6年9月30日

瀬戸市議会議長 様

議員名 馬嶋 みゆき

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記

期 日	令和 6年 10月 17日から 10月 18日まで (1泊2日)	
調査先・研修名	第86回全国都市問題会議	
会場名 (会場所在地)	アクリエひめじ (姫路市文化コンベンションセンター)	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	議題：健康づくりとまちづくり～市民の一生に寄り添う都市政策～ ・基調講演 生物学者・青山学院大学教授 福岡伸一氏 ・主報告 兵庫県姫路市長 清元秀泰氏 ・一般報告 筑波大学システム情報系教授 谷口守氏 千葉県流山市長 井崎義治氏 他1名 ・パネルディスカッション を通じて、全国的な動きや傾向、先進事例を学ぶことで、本市議会との差異を知り、今後の議会活動の向上に繋げていく。	
議長名の依頼	要 <input checked="" type="radio"/> 不要	依頼先 (名称)
同行者名	長江公夫 松原大介	

※行程表を添付してください。

# 調査・研修等報告書

令和6年12月13日

瀬戸市議会議長 様

議員名 馬嶋みゆき

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 6 年 10 月 17 日から 10 月 18 日まで (1泊2日)
調査先・研修名	第86回 全国都市問題会議
会場名(会場所在地)	アクリエひめじ (姫路市文化コンベンションセンター)
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	議題:健康づくりとまちづくり～市民の一生に寄り添う都市政策～ 第1日目 10月17日 ・基調講演: 生物学者 青山学院大学教授 福岡伸一氏 ・主 報 告: 兵庫県姫路市長 清元秀泰氏 ・一般報告: 筑波大学システム情報系教授 谷口守氏 千葉県流山市長 井崎義治氏、他1名 第2日目 10月18日 ・パネルディスカッションを通じて、全国的な動きや傾向、先進事例を学ぶことで、本市議会との差異を知り、今後の議会活動の向上につなげていく。
研修で学んだこと・キーワード等	
[第1日目] ・市町村の健康増進事業プロセス調査では栄養・食生活分野、身体活動分野、歯・口腔分野、生活習慣病予防分野、健康受診率向上分野に関する取り組みが重視される傾向にある。 ・厚生労働省は健康政策展開にあたり既存データの活用を呼びかけている。 ・高齢者の嚥下機能の維持に歌唱を推奨。歌うことが自発的嚥下を防ぐと2020年の丹波市における実証実験で分かったとの報告。 ・都市はその人口などの規模に応じ公共交通と歩ける範囲でコンパクトに展開するのがこれからの「健康まちづくり」の基本。	

[第2日目]

- ・地域を持続可能にするには、すべての世代で元気人口を増やすことが課題。
- ・健康づくりに対して自治体の前向きな取り組み方が、健康寿命の延伸やガン死亡率の改善につながる
- ・健康政策のターゲット
- ・会話しないことによる嚥下機能の低下
- ・不健康な子供たち
- ・人の健康はまちの健康
- ・食の関心
- ・健康状態の見える化

研修（受講後の感想）

健康づくり事業に着手している例として、市長が医師でもある兵庫県姫路市の取り組みは説得力もあり非常に印象に残った。取組事例として

子宮がん検診

姫路市では、2024年度から若い世代の子宮がん検診の受診率向上を図るため、20歳から30歳までの2歳刻みで検診費無償化、20歳代の子宮がん検診未受診の自己採取HPV検査キットの送付を開始。

介護予防

運動や食生活などの対策を適切に行うことで、軽度認知障害の状態から健常な状態に回復した事例があることから、姫路市内約470カ所で体操など通いの場を作ったり、「ウォーカブルなまちづくり」として居心地が良く、歩きたくなる街中の形成に取り組んでいる。街中に外出し、出会い、交流できる環境作りを推進、フレイル予防、引きこもり予防など、健康作りの促進が期待されている。

ICT活用

マイナンバーカードやデジタル技術の活用により、姫路版スマートシティー事業を推進している。救急業務の迅速化や円滑化では、救急現場で救急隊がマイナンバーカードを活用し、医療情報を早期に把握。併せて市の独自事業として救急隊と医療機関が傷病者の受け入れ状況等をリアルタイムで共有するシステムを活用。外傷系患者の画像を送信することにより処方事前把握を行う事業も実施されたとのこと。

プレコンセプションケア

2024年度からは社会人を対象に、若い男女が将来のライフプランを考えて、日々の生活や健康と向き合うヘルスケアとしてプレコンセプションケアセミナーを実施。

また長野県茅野市では

小児オンライン相談サービス(令和6年度展開)

夜間休日の小児かかりつけ医院の診療時間外でも地域外の医師がオンラインによってチャットで相談対応を行うもの。保護者の不安解消や負担軽減、症状のトリアージが混雑緩和と適正診療の促進につながり、医療費の縮減も期待されている。

その他、どの自治体も人口構成や市民性など環境も違う。こうしたを踏まえて事業が実施されており、成果が期待される。

#### 調査・研修の成果・考察

(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

人口減少、少子高齢化が急速に進み、社会保障の負担が増え続ける中、行政等による住民の健康づくりへの支援は社会的な課題となっている。

健康づくりは、個人のことはあるものの市民の健康づくりに自治体はどう関わるかはとても重要と考える。

パネルディスカッションでは、市民の健康問題は、各自治体の頑張りに左右され、各自治体によって差があるとの発言があった。地域が持続可能になっていくためには、すべての世代で元気人口を増やしていくことが課題。

その元気人口を増やしていくため、健康づくりが重要となるが、運動や日常生活はもちろん、「食」が非常に重要であり、食育や栄養について本市でもさらに進めていく必要があるのではと感じた。

データ活用については例えば、市民の健康診断結果データから傾向を探り、それに対する改善への推進、新たな事業に役立てたりすることも可能。また毎年の特健診のデータなどを活用し状態をグラフなどにして一目でわかるようにし、個々のモチベーションを高めるなど、これまでにないアプローチを本市でできるのではないかと。

街づくりについては都市機能だけでなく市民の健康を意識したものなど、新たな発想であった。また子育て世帯を呼び込むのであれば茅野市のような小児オンライン相談サービスは望まれるサービスかもしれない。

今回、都市問題会議への参加を機に、あらためて本市の健康に関する事業の効果・影響を確認し、地域資源と市民の傾向から瀬戸市の健康づくり事業はどのような形が良いのか考えたい。紹介された事例や様々な考え方を参考に新たな視点で、これからの本市の健康づくり政策のあり方についても提案を行っていきたい。

# 行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
6 年 10 月 17 日	尾張瀬戸	名鉄	片道	大曽根	16	km	460	円	円
	大曽根	JR	片道	名古屋	9.8	km	4,840	円	円
	名古屋	新幹線	片道	姫路	278.3	km		円	3,930 円
						km		円	円
						km		円	円
	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
	東横イン姫路駅新幹線北口				079-226-1045		9,400 円		
備考欄									

18,630 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
6 年 10 月 18 日	姫路	新幹線	片道	名古屋	278.3	km		円	4,660 円
	名古屋	JR	片道	大曽根	9.8	km	4,840	円	円
	大曽根	名鉄	片道	尾張瀬戸	16	km	460	円	円
						km		円	円
						km		円	円
	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

小計 9,960 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
年 月 日						km		円	円
						km		円	円
							km		円
							km		円
							km		円
	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

パック等による割引など 小計 0 円

400 円

宿泊費 合計

9,400 円

交通費 合計

19,190 円

申請額合計  
(宿泊費+交通費-割引代)

28,190 円